

小中29万人、不登校児童生徒数が過去最多に 文科省調べ

文部科学省は10月4日、「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果を公表した。

調査結果によると、小・中学校における不登校児童生徒数は299,048人（前年度244,940人）であり、前年度から54,108人（22.1%）増加し、過去最多となった。在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は3.2%（前年度2.6%）。

不登校児童生徒の61.8%（前年度63.7%）に当たる184,831人（前年度156,009人）の児童生徒が、学校内外の機関等で相談・指導等を受けている。そのうち、学校外の機関等で相談・指導等を受け、指導要録上出席扱いとした児童生徒数は、32,623人（前年度27,997人）。また、不登校児童生徒のうち、自宅におけるICT等を活用した学習活動を指導要録上出席扱いとした児童生徒数は10,409人（前年度11,541人）だった。

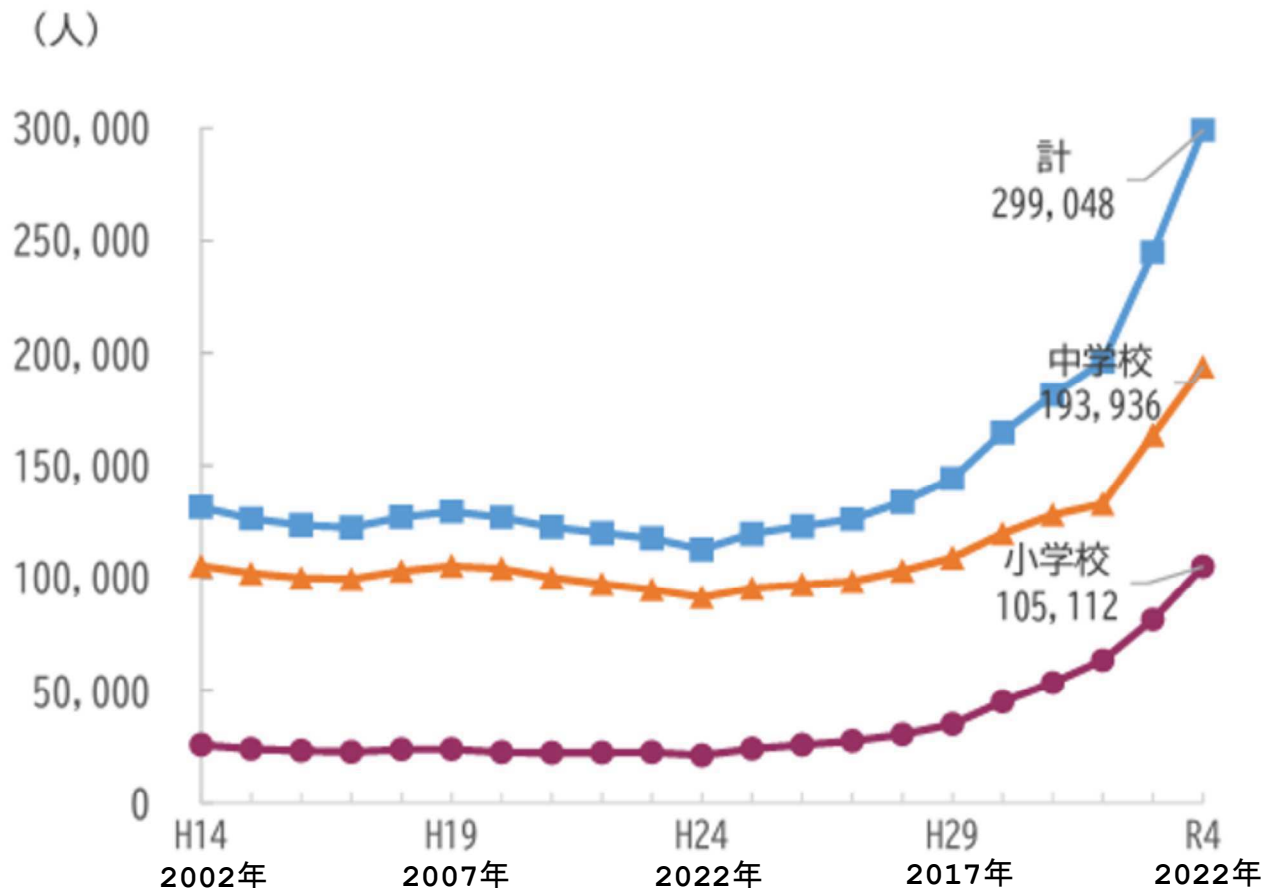
高等学校における不登校児童生徒数は、60,575人（前年度50,985人）で、前年度から9,590人（18.8%）増加した。在籍児童生徒に占める不登校児童生徒の割合は2.0%（前年度1.7%）だった。

小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は681,948件（前年度615,351件）で、前年度に比べ66,597件（10.8%）増加した。児童生徒1,000人当たりの認知件数は53.3件（前年度47.7件）。年度末時点でのいじめの解消状況は、525,773件（77.1%）（前年度493,154件（80.1%））。

いじめの重大事態の件数は923件（前年度706件）で、前年度に比べ217件（30.7%）増加し、過去最多となった。小・中・高等学校から報告のあった自殺した児童生徒数は411人（前年度368人）だった。調査結果の詳細はURLから確認できる。

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm

不登校児童生徒数の推移



画像は「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果」（文科省）から